

令和6年度

財務書類の公表

平成27年1月に総務省から「統一的な基準」が示されたことにより、平成28年度分から、全国の自治体で、新たな財務書類の作成が進められています。

本組合で作成した令和6年度の各財務書類について、以下のとおり公表いたします。

①貸借対照表

令和6年度末の時点で、組合が保有する資産と、負債・純資産について表したものです。

資産の部	143億8,010万円	負債の部	28億629万円
①固定資産	140億9,079万円	①固定負債	26億9,897万円
②流動資産	2億8,931万円	②流動負債	1億732万円
		純資産の部	115億7,381万円
資産合計	143億8,010万円	負債及び純資産合計	143億8,010万円

※固定資産…建物、工作物など、長期にわたり所有・使用する資産
※流動資産…現金預金など、短期間(1年以内)で現金に換えられる資産
※固定負債…返済が1年を超える負債
※流動負債…1年以内に返還または払出が必要な負債

令和6年度の当組合は、資産の部が負債の部を大きく上回っています。負債に頼りすぎることのない財政運営ができたといえます。
※構成市町村民1人当たりの資産額 159,598円 負債額 31,146円
構成市町村人口 90,102人(令和7年3月31日時点の住民基本台帳)

②行政コスト計算書

令和6年度に、組合の行政サービスで生じたコストについて表したものです。

①経常費用	14億3,742万円
②経常収益	1億6,754万円
③純経常行政コスト(②-①)	△12億6,988万円
④臨時損益	0万円
純行政コスト(③+④)	△12億6,988万円

※経常費用…行政サービスを行うために毎会計年度必要となるコスト
※経常収益…行政サービスによって毎会計年度生じる収益

当組合では、経常費用の多くを、各施設の維持補修費、減価償却費などの物件費が、経常収益の多くを、各施設の使用料及び手数料が、それぞれ占めています。
上記の表は、施設使用料などで回収する金額よりも、施設の維持補修などで支出する金額のほうが多いことを示しています。
※構成市町村民一人当たりの行政コスト 14,094円

③純資産変動計算書

貸借対照表内の純資産について、令和6年度中の変動を表します。

①前年度末純資産残高	113億1,790万円
②純行政コスト	△12億6,988万円
③財源	10億1,524万円
④本年度純資産変動額(②+③)	△2億5,464万円
⑤その他変動額	5億1,056万円
本年度末純資産残高(①+④+⑤)	115億7,381万円

当組合の財源としては、分担金や国庫支出金が挙げられます。
令和6年度の当組合では、純行政コストに対して財源が不足する状態でしたが、前年度までの残高により、全額を賄うことができました。

④資金収支計算書

令和6年度の収入と支出を明確にするためのものです。
年度内に行われた資金の動きがすべて記されています。

①本年度資金収支額	△8,039万円
②前年度末資金残高	3億6,936万円
③本年度末資金残高(①+②)	2億8,897万円
④本年度末歳計外現金残高	34万円
本年度末現金預金残高(③+④)	2億8,931万円

表内の「本年度末資金残高」と「本年度末歳計外現金残高」を合わせることで、会計年度の現金預金残高がわかります。
最終的な残高は約3億円となりました。

※数値は、四捨五入しているため、合計値が一致しない場合があります。